

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	習志野市立実花小校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	3	3	2	2	0	15	27
児童数	78	100	85	95	70	70	0	498	

II 研究の概要

1. 研究主題

楽しさと充実感が味わえる算数科学習のあり方

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年 算数科

- ・思考面, 意欲面, 理解面などに児童差がでやすい教科であるため。
- ・長年, 算数科研究を継続してきているため。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度

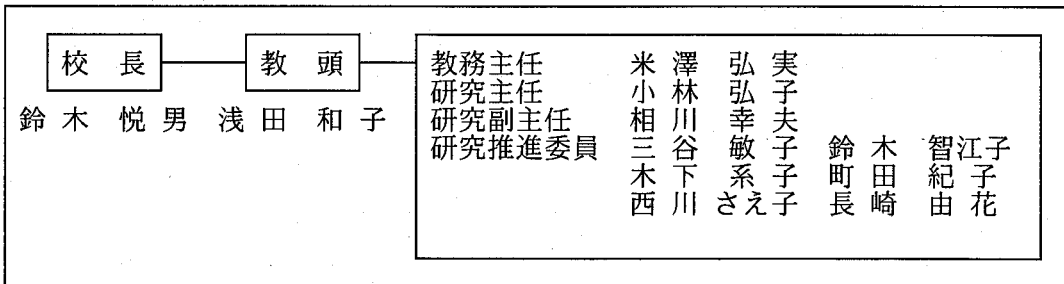
- テーマ
楽しさと充実感が味わえる算数科学習のあり方
- 仮説
仮説1 算数的活動を積極的に取り入れていけばよいだろう。
仮説2 考えのよさを認め合い, 学び合う場を工夫すればよいだろう。
- 研究内容・方法
 - ・評価を生かした指導計画の作成
 - ・算数的活動を積極的に取り入れた授業改善
 - ・少人数授業およびTTを効果的に位置づける指導
 - ・発展的, 補充的な学習内容を取り入れ, 基礎基本の定着を図る。
 - ・授業以外に習熟の時間(はげみ)を取り入れる。
 - ・算数科公開研究会の開催

平成15年度

- テーマ
楽しさと充実感が味わえる算数科学習のあり方
- 仮説
仮説1 さまざまな算数的活動を積極的に取り入れていけばよいだろう。
(算数的活動を大きく解釈し, 単なる操作活動だけでなく思考活動も含めたものとしてとらえるために, 変更した。)
仮説2 考えのよさを認め合い, 学び合う場を工夫すればよいだろう。
- 研究内容・方法
 - ・少人数授業(習熟度別, 課題選択)を効果的に取り入れた学習の実践を進める。
 - ・発展的, 補充的な学習を積極的に取り入れて, 授業の改善を行う。
 - ・習熟の時間(はげみ)の内容の充実を図る。
 - ・指導計画の改善

平成 16 年度	○テーマ 楽しさと充実感が味わえる算数科学習のあり方
	○仮説 仮説1 さまざまな算数的活動を積極的に取り入れていけばよいだろう。 仮説2 考えのよさを認め合い、学び合う場を工夫すればよいだろう。
	○研究内容・方法 ・少人数授業や発展的、補充的な学習の実践を深め、改善を図っていく。 ・公開研究会の開催 ・研究内容の評価とまとめ

(3) 研究推進体制



III 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 児童の数学的思考力の伸長が学力の向上の大きな要素であることから、一斉指導、少人数指導（習熟度別、課題選択）の場を単元の指導計画の中にどのように効果的に位置づけるかを研究してきた。一斉指導は多様な考えを比較検討する導入場面を中心として、習熟別指導は学習内容を定着させたり、発展・補充したりする場面で、また、課題選択別の指導は、発展的・補充的な学習を取り入れたりする場面で行っていくことにより、児童の意欲的な学習の姿が高まると共に、学習内容の理解も深まっていた。
- 習熟度別指導では、習熟に差があるグループに適した学習活動を行ったことで、理解が進むと共に、発言が増えるなど、意欲的な姿も見られた。また、授業後の児童に対するアンケートでも、どの学年も習熟度別指導を行ったあとは、「よくわかった」という感想が20パーセント前後増える傾向にある。
- 発展的・補充的内容は課題選択別の少人数学習を中心として取り入れてきたが、児童の学習に対する意欲を高めることができた。
- 本校の算数研究においては、授業において児童自らがどのようなことがわかったか、また学習をどう感じたかなどについて自己評価することを大切にしている。個に応じた指導に積極的に取り組むことで、わかりやすかったり、意欲的に学習に取り組めたりという、自己評価をする児童が増えてきた。
- 始業前に位置づけている「数と計算領域」を中心とした習熟の時間（はげみ）を設けているが、15年度は、児童の習熟の程度に合わせて課題の見直しを行い、児童一人ひとりが意欲的に取り組み、技能の定着を進めることができた。

2. 今後の課題

- 一斉指導、少人数指導（習熟度別、課題選択別）、発展的・補充的な内容の指導をどのようにとりいれて、より効果的な指導計画の立案と検証をどのように進めていくか。
- 発展的な学習や補充的な学習が、真に児童の実態に合ったものであるか、さらに検討を進めていく必要がある。
- 習熟度別指導では、児童が自己評価して、自分の行くべきコースを正しく判断できるようにするための手だてをどうとるかが課題となっている。

IV 学力等把握のための学校としての取組

千葉県標準学力テストを実施（平成16年4月中旬予定）

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成16年10月29日（金）
算数科・学力向上フロンティア事業公開研究会開催予定
全体講師 東京学芸大学名誉教授 早稲田大学教授 杉山吉茂 先生
 H P の公開
平成16年3月末予定

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無